

英語を自分の言葉にする

英語環境でビジネススキルを 発揮できる人材育成方法

TOEICは高得点の社員… でも英語が話せないのはなぜ！？



日本では、多くの企業がTOEICスコアを英語の実力判定の目安としています。

一方で、高得点を保持し、「英語が話せる」と期待した社員が蓋を開けてみたら実は英語が話せなかったということも。

では、TOEIC高得点にもかかわらず、なぜ英語を話せないのでしょうか？それには理由があります。

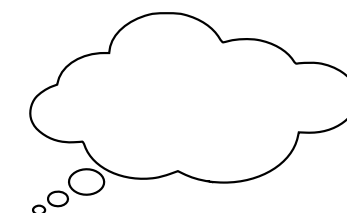


Gabby Academyに寄せられる英語研修担当者のお悩み

- ☑ TOEIC高得点者を採用したが、実務で使えるレベルの英語スピーキング力を有していなかった。
- ☑ 社内の海外トレーニングプログラムでTOEICの基準をクリアした社員を米国へ赴任させたが、英語コミュニケーション力の不足により現地での業務がうまく進められていない。
- ☑ メールベースでの基本的な英語のやりとりは問題ないが、外国人を交えたチームでのやり取りではスピード感あるコミュニケーションが取れない。



英語を話せると期待した社員の英語運用能力の低さは、多くの企業にとっての課題となっています。



1万人のVERSANT スコア分析でわかった! スピーキング力の実態

英語が
ほとんど
話せない

25%



海外赴任
目安スコアを
クリアした人

29.05%

※海外赴任準備でまず獲得したいのは、総合スコア47点
(CEFR B1 レベル以上)



企業別平均で、
総合スコア47点を超えた企業

※英語でビジネスをするうえでの目標は総合スコア47点以上

3社/62社

日本人が得意とされる「語彙」

88% 目標点
達成ならず

※ビジネスにおいて理想的な語彙スコアは58点以上



TOEIC
900点超の

37%

が、「途切れ途切れに話す」
レベル総合スコア48点以下

ボリュームゾーンである
TOEIC700点台の

89% 「発音」に課題
外国語訛りに慣れないと
わかりにくいレベル



ネイティブと
英語で議論できる

7%



日本経済新聞社が実施した『VERSANT®(※)スコア分析』によると、TOEIC 900点以上を保有する人の約4割は英語を話して仕事ができるレベルに達していないとされています。

TOEICはリーディングとリスニングという限られたスキルしか測ることができません。つまり、『TOEIC高得点保持者＝英語を流暢に話す人』ということにはならないのです。

TOEICで高得点を取ることと、英語を自由に話せることは、まったく別のスキルなのです。

*分析実施：日本経済新聞社 *分析期間：2018年3月～2020年7月

*対象者：10,505人 内訳：日本に籍を置く法人受験（ビジネスパーソン）7,212人、それ以外の社会人（公務員、専門職）1,755人、学生 1,538人

●出典『VERSANT 1万人分析で見た10のFACT』

(※) VERSANT®

ピアソン社が提供する仕事で使える実践的な英語力を測るテスト。国内外の大手グローバル企業、米国国防総省やオランダ移民局など多数の政府機関・団体が、本当に話せる英語力の測定に当テストを採用しています。

世界ランキング

非常に高い	高い	標準的	低い	非常に低い
1 オランダ	14 セルビア	32 香港特別行政区	59 アルメニア	87 アフガニスタン
2 オーストリア	15 ルーマニア	33 スペイン	60 ブラジル	88 ウズベキスタン
3 デンマーク	16 ポーランド	34 レバノン	61 グアテマラ	89 シリア
4 シンガポール	17 ハンガリー	35 イタリア	62 ネパール	90 エクアドル
5 ノルウェー	18 フィリピン	36 モルドバ	63 エチオピア	90 ヨルダン
6 ベルギー	19 ギリシャ	37 韓国	63 パキスタン	92 メキシコ
7 ポルトガル	20 スロバキア	38 ベラルーシ	65 バングラデシュ	93 ミャンマー
8 スウェーデン	21 ケニア	39 アルバニア	66 ベトナム	94 アンゴラ
9 フィンランド	22 エストニア	40 ウクライナ	67 タンザニア	94 カメルーン
10 クロアチア	23 ブルガリア	41 ボリビア	68 モザンビーク	96 カザフスタン
11 ドイツ	24 リトアニア	42 ガーナ	69 アラブ首長国連邦	97 カンボジア
12 南アフリカ	25 スイス	43 キューバ	70 トルコ	98 スーダン
13 ルクセンブルク	26 ラトビア	44 コスタリカ	71 モロッコ	99 コートジボワール
	27 チェコ共和国	44 ドミニカ共和国	72 バーレーン	100 タイ
	28 マレーシア	44 パラグアイ	73 パナマ	101 キルギス
	29 ナイジェリア	47 チリ	73 ベネズエラ	102 オマーン
	30 アルゼンチン	48 インド	75 アルジェリア	103 タジキスタン
	31 フランス	49 中国	76 ニカラグア	104 サウジアラビア
		50 ジョージア	77 マダガスカル	105 ハイチ
		51 ロシア	78 日本	106 ソマリア
		52 チュニジア	79 カタール	107 イラク
		53 ウルグアイ	80 インドネシア	108 リビア
		54 エルサルバドル	81 コロンビア	109 ルワンダ
		55 ホンジュラス	82 スリランカ	110 コンゴ民主共和国
		56 ペルー	83 モンゴル	111 南スーダン
		57 マカオ特別行政区	84 クウェート	112 イエメン
		58 イラン	85 エジプト	
			86 アゼルバイジャン	

イー・エフ・エデュケーション・ファースト（EF）社により2021年に調査された『EF EPI英語能力指数(※)』。日本は78位と、先進国で唯一「低い」グループに分類されています。

この指標は、仕事で同僚とちょっとした会話ができたり、簡単なメールを理解できるレベル。つまり、日本人の英語力は英語を使って業務を行うレベルに達していない状況です。

(※) EF EPI英語能力指数
世界112か国・地域の約200万人の英語試験ビッグデータを活用した英語能力のベンチマーク。CEFRに準拠した5段階の英語能力レベルのほか、「人材競争力指数」「人的資本指数」等の外部指標と英語能力指数の相関関係を考察した分析レポートから構成されている。

EF EPI 第2021版 世界最大の英語能力指数 ランキング
112の国、地域から220万人が参加した、歴代最多のデータ集計に基づく<https://www.efjapan.co.jp/epi/>

勉強しているのに英語を自由に話せるようにならない理由は、
英語を話すための適切なアプローチを取っていないため

✔ **知識ファーストの学習法で、音声情報が処理できない**

日本語を介した理論的な文法理解や単語の想起に囚われている

✔ **瞬発力が養われていない**

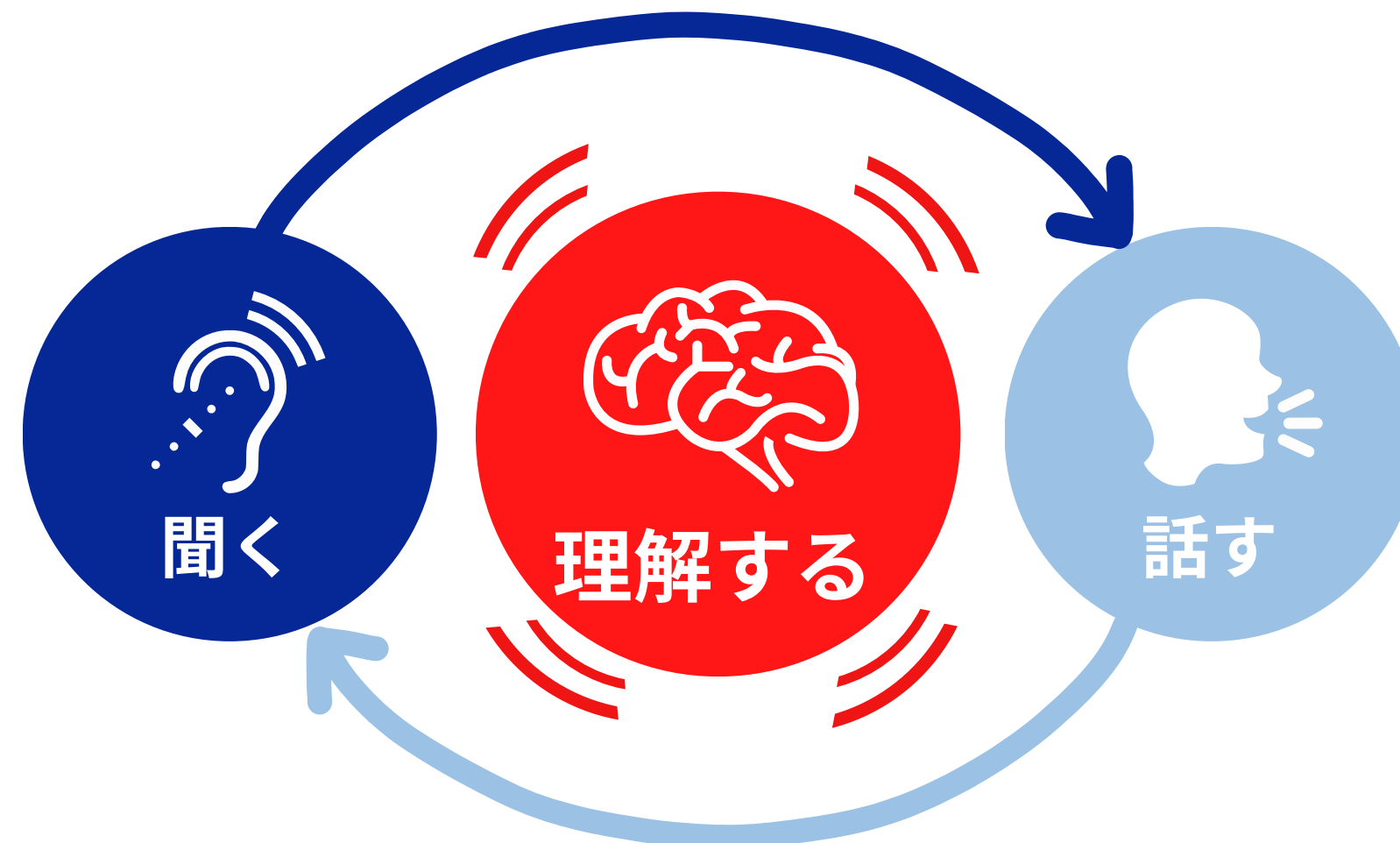
英語を日本語に訳して理解しようとしたり、日本語で一度考えるため、
瞬発的にコミュニケーションできない

✔ **言葉を自分で組み立て、文を作りながら発話出来ない**

頭の中で完成文を作ってから発話しようとするので、発話までに時間がかかる

英語を話すのに必要な「脳内処理プロセス」を形成しよう

英語を話すために必要なのは、日本語を介さず、英語のまま理解し、英語で考え、伝えること。
テストで高得点を取ることに特化した勉強では、英語学習をいくら続けてもこの力を得ることはできません。



METHOD

英語を話すのに必要な「脳内処理プロセス」とは？

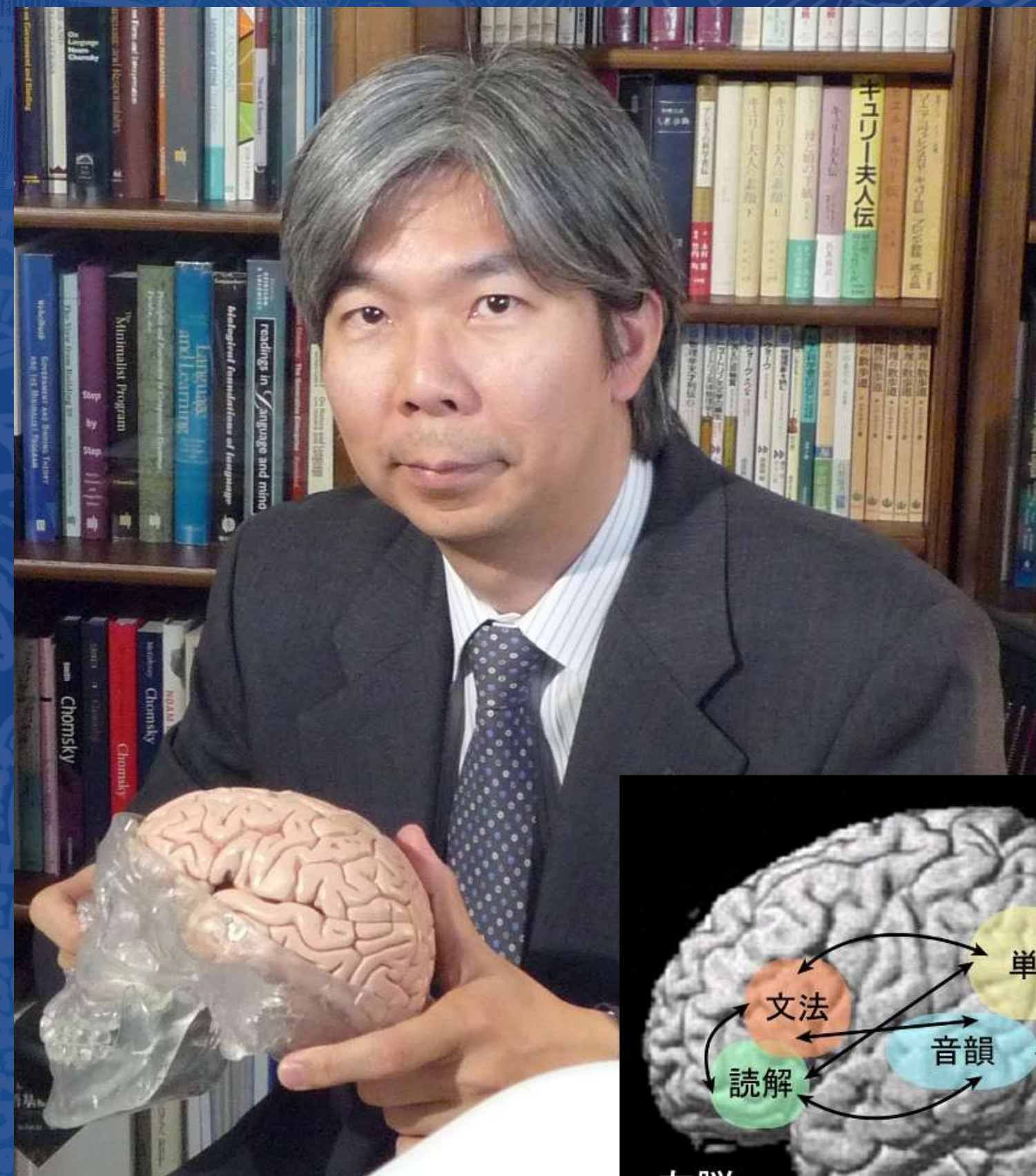
東京大学と共同開発した トレーニングメソッド

酒井 邦嘉
東京大学 大学院総合文化研究科 教授

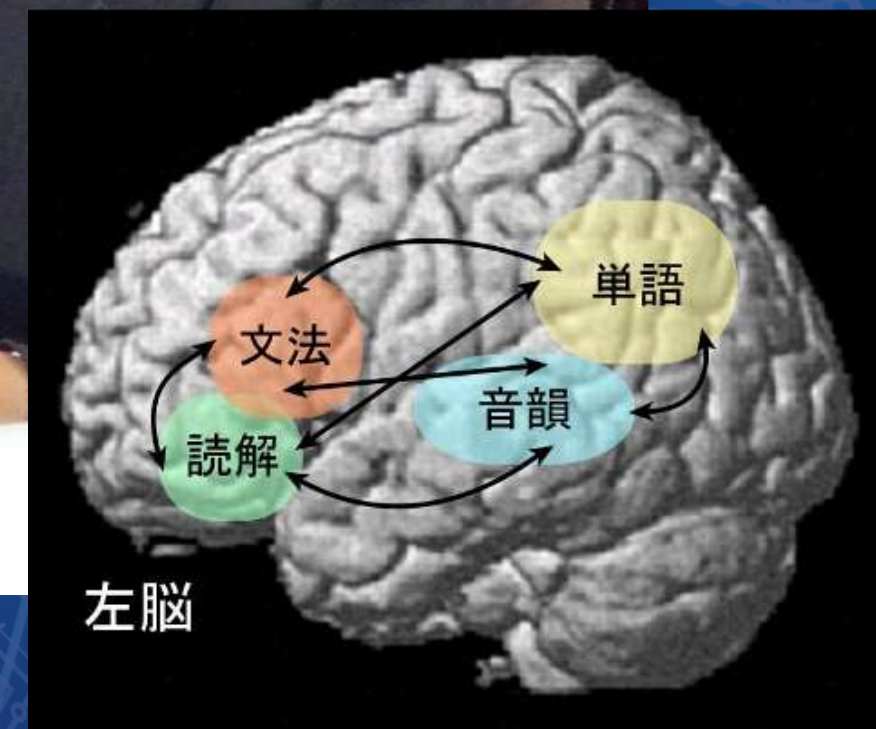
生物物理学・脳神経科学・言語学等の異分野の研究経験を持ち、米国マサチューセッツ工科大学（MIT）でノーム・チョムスキーに師事し、人間の言語能力の解明を目指す言語脳科学者

著書

『チョムスキーと言語脳科学』（インターナショナル新書）
『言語の脳科学―脳はどのようにことばを生みだすか』（中公新書）



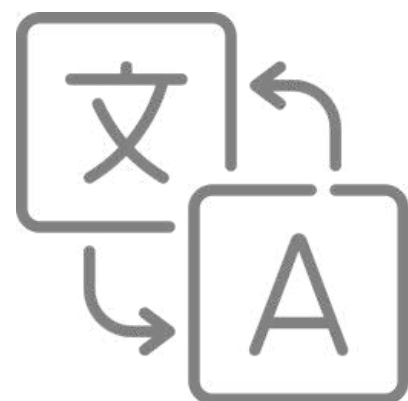
METHOD



Gabby Neuro-Language Training

人の脳が本来持つ言語能力を引き出すメソッドGabby Neuro-Language Trainingを東京大学酒井邦嘉教授と共同開発（共同特許出願済）。脳科学的なアプローチを用いることで、英語スピーキングスキルを適切に習得します。

**人の脳が本来持つ言語能力を引き出す3つのメソッドで
日本語を介さずに英語で聞き、考え、伝える瞬発的な英語コミュニケーション力を養う**



Sentence-Generation Training - 文生成力トレーニング -

発話と同時に自然な英文を
生み出す力を鍛える



Response Training - 即応能力トレーニング -

英語情報への脳の瞬発
力を鍛える



Phonology Training - 音韻能力トレーニング -

発音矯正に加え、相手に伝えるための
発話のリズムや抑揚を身につける

Gabby NLTが作用する文法中枢（ブローカ野）での言語処理プロセス

Gabby NLT（Neuro-Language Training）は、下図で示された文法中枢（ブローカ野）で単語を一つずつ繋ぎながら、意図する文を生成するための音声ドリルを体系化した効果的なトレーニングです。



TRAINING

Gabbyトレーニング

言語脳科学に基づく自主トレーニング×コーチングで脳の瞬発力を鍛え 英語の思考パターンの条件反射を作ることができるオンライン学習

Gabby NLT (Neuro-Language Training) によって設計されたアプリでの自主トレーニングと、
プロ英語ネイティブによるコーチングの組み合わせで
グローバルビジネスの現場で即戦力となる英語コミュニケーション力を最短期間で習得できます。



東京大学と共同研究開発した4つの発話力強化トレーニング

動詞を中心に据えて文を構築することで、言語に普遍的な思考パターンをトレーニングします。
文の構造に対する意識を高め、暗記に頼らずに動詞から文を生成する能力を向上させます。

01 UG Speed 発話の瞬発力を鍛えるドリル

流れてくる音声に対して、「Yes＋肯定文」または「No＋否定文」の完全文で素早く回答。



02 UG Structure 文の生成能力を鍛えるドリル

音声で流れる基本文を、指示に従って単語を追加または入れ替えて回答。



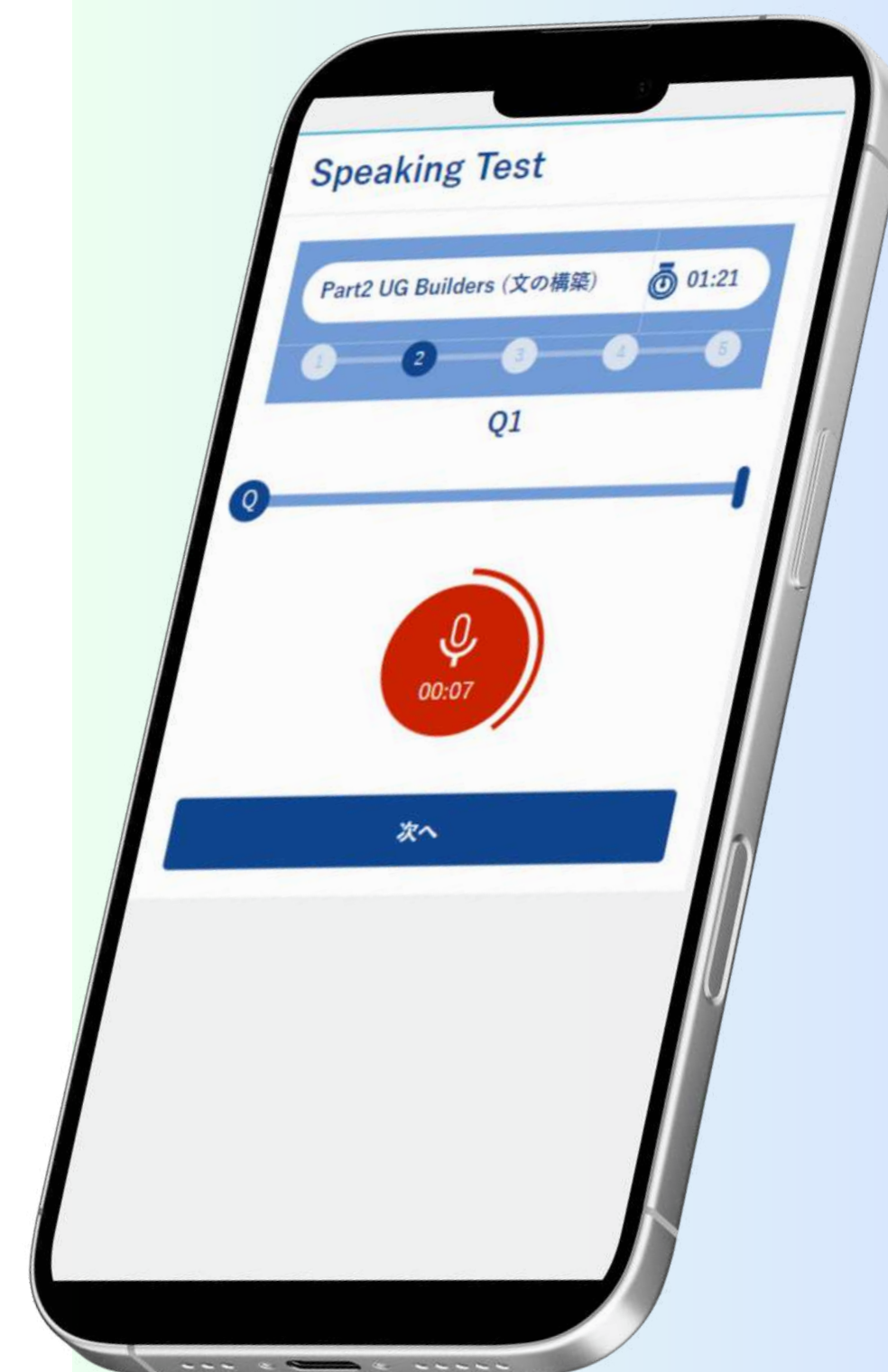
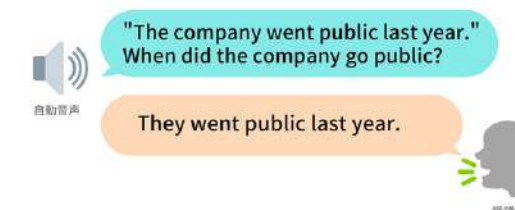
03 UG Builders 英語の思考法を鍛えるドリル

動詞を中心に、音声で指示される単語や句を適切な位置に追加して回答。



04 UG Mastery 自在な文生成能力を鍛えるドリル

音声で流れる基本文とその内容に対する問いにキーワードとなる情報を含めながら回答。



世界トップ英語スピーキング評価AIによる自動採点で英語発音を正確に評価

AIスピーキングテストによるトレーニング開始前後の学習成果の評価と、毎日のミニテストでスピーキング学習PDCAが簡単に回せます。

AIスピーキングテスト

3ヶ月に1回独自テストを受験。音読・復唱で、①発音（母音、子音、ストレス、抑揚）②正確性 ③流暢性を評価します。

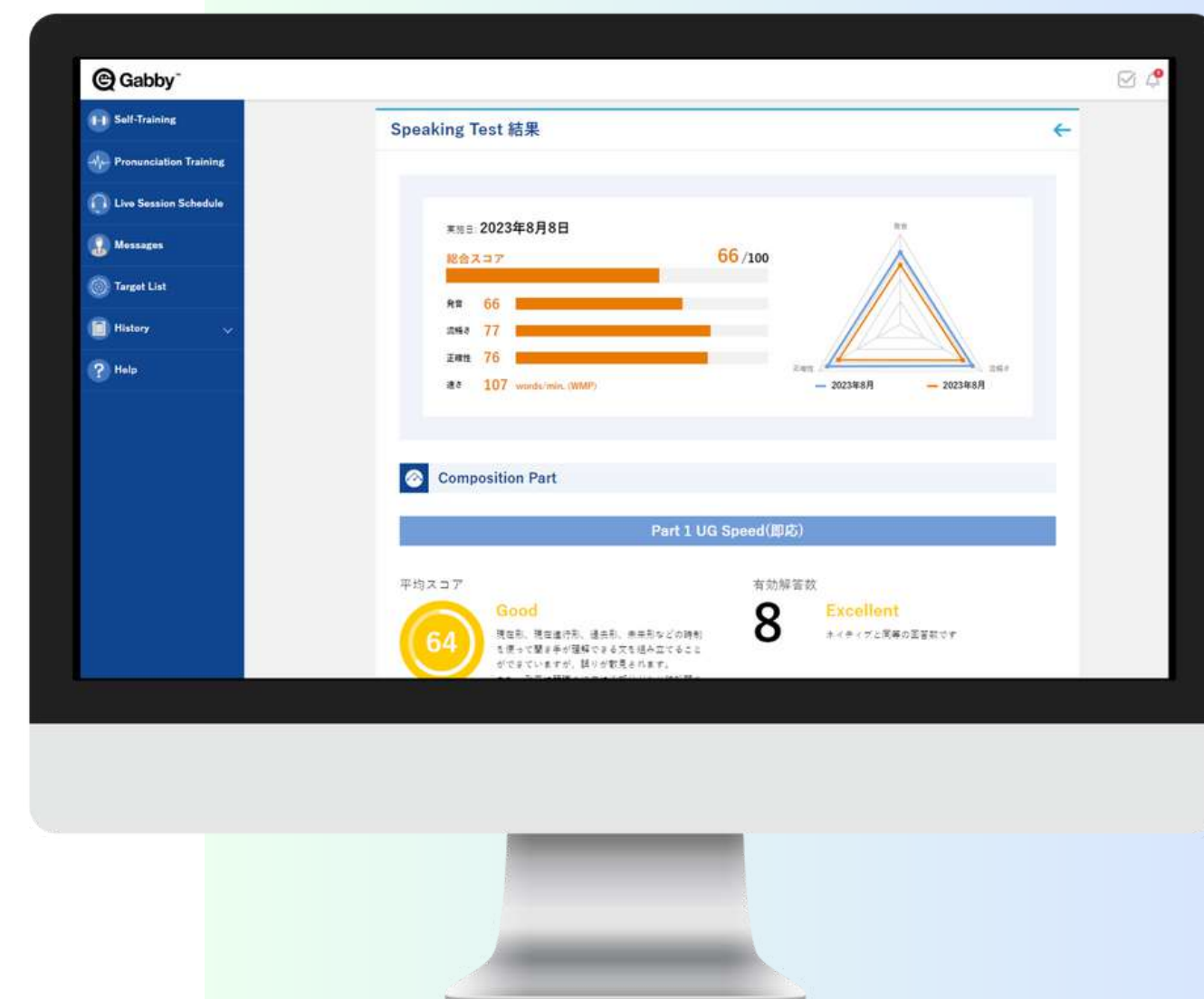
デイリーミニテスト

一人一人にカスタマイズされた1日の練習メニューから出題。回答スピード、発音、正確性、流暢性を評価します。

世界トップの英語スピーキング評価AI「CHIVOX®」を採用



グローバルで1,000社を超える導入実績をもつ英語スピーキング評価AIエンジン。
（アイード株式会社提供）世界182の国と地域で利用され、エンドユーザー数は1.3億人を超える。毎月6億回以上のスピーキング評価を行っている。



脳科学に基づき英語の音を身につける発音レッスン

発音記号不要のCVA (※) 発音習得プログラムで、母音・子音発音やリズム・抑揚・ストレス・アクセントといった発音理論を、複数の身体感覚を使いながら動画で学習します。(※) Color Vowel アプローチの略

動画レッスン

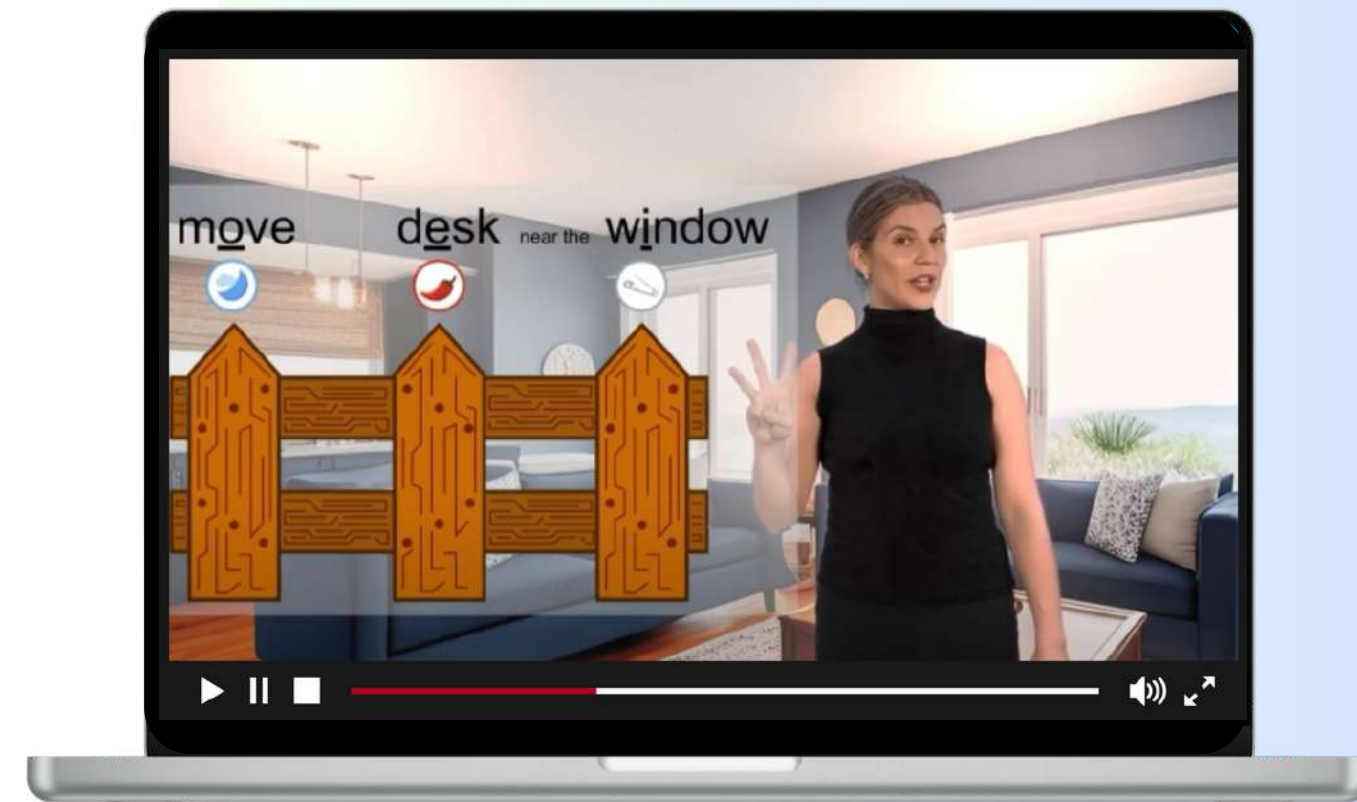
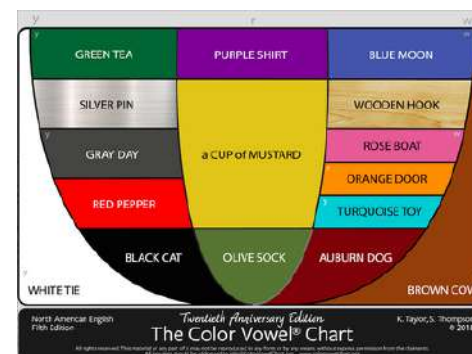
スピーキングテストを受験すると、計150本以上の動画のなかから、受講生の苦手な発音をカバーする動画が毎日配信されます。

グループセッション

毎月、決められたテーマでグループセッションが開催されます（30分×4回/月）。参加は任意のため、予定に合わせて無理なく参加できます。

脳科学に基づくアプローチで英語の正しい音を体得

米国国務省の移民教育、ハーバード大学などのトップ機関での英語教育にも採用されるColor Vowel®Chart。英語レベルや年齢に関係なく、あらゆる発音の理論を体系的に体得します。



専門資格をもつコーチが受講生をサポートし、目標達成へと導きます

英語教授資格を持つネイティブコーチが、数カ月にわたるトレーニングに伴走。毎日コーチとコミュニケーションを取りながら、モチベーションを維持して継続的に学習できます。



採用率

1%以下

厳格なコーチ採用基準

複数回の面接や模擬セッションなど、厳格な面接のプロセスをクリアした人材のみを採用しています。

完全

担任制

同じコーチがトレーニングに伴走

数カ月のトレーニングに同じコーチが伴走。ライブセッションでも毎回コーチが変わることなく、受講生の苦手を適切に把握しサポートし続けます。

英語教授の
プロ

英語教授やビジネスのプロフェッショナル

コーチは全員「英語を学ぶ人に教えるための専門資格(※)」を保有。そのほか、MBA保持者、会計士などビジネス経験のあるコーチを積極的に採用しています。

※英語を学ぶ人に教えるための専門資格

CELTA、TESOL、DELTAなど第二言語として英語を教えるための実践的な指導資格。高い教育の質が保証されており、英語教師を目指す人々の入門資格として世界的に評価が高いです。

ライブセッションの流れ

パーソナルコーチとの定期的なライブセッション（25分/回）でトレーニングの進捗をリードします。



STEP.1

フリートーク・
ディスカッション

3-5分



STEP.2

ドリルの実演・評価

10-15分



STEP.3

自然な表現・発音など
課題の指導

2-3分



STEP.4

自主トレ内容の指示

2-3分

CLIENT STORY

導入事例



T株式会社様（在米研究所）

多国籍チームでのコミュニケーションを円滑にするため

アメリカの研究所に日本人研究員を駐在させ、現地採用スタッフ及びパートナー企業研究員と共同研究開発を行っている。しかし、英語スピーキング力不足でチーム内のコミュニケーションが円滑に行われていないことが課題となっていた。

Gabby導入後



受講前の平均VERSANTスコアは日本人平均の38点。

6ヶ月の受講後には、平均スコアが、英語でビジネスができるレベルと言われる48点を大きく上回った53点に。ほぼ全員がスコアを大幅に上昇させた。



株式会社S 様（外資系企業）

外国籍社員とのやり取りのため、 英語ビジネススキルの向上が急務

ミーティングや日常業務で海外拠点の社員と英語でやり取りをする必要があり、スピーキング力の向上に迫られていた。また、英語でビジネススキルを学ぶオンライン教材 EXCEDO受講のために、対象社員はVERSANTスピーキングテストの基準スコアを満たす必要があった。

Gabby 導入後



平均
9点
UP

3ヶ月後...

受講後、VERSANT スピーキング & リスニングテストで、2名の受講生が13点、5点アップを果たした。また、グローバルビジネススキルを学ぶ教材の受講要件も満たすことができた。



株式会社S 様（外資系企業）

外国人エンジニアとの混成チーム でプロジェクトを開始するため

部長・課長クラスを含むチーム全員でGabbyを受講開始。通訳がいないと意思の疎通ができなかったレベルから、6ヶ月で英語のみで会議を進行できるレベルに。9名での開始であったが、成果を実感し、本部研修として展開し、のべ300名（3ヶ月間換算）超規模の研修として導入・継続している。

Gabby導入後

((())) VERSANT®

平均
4.8点
UP

6ヶ月後...

当初受講グループ（21名）が3カ月の受講でVERSANT スピーキング&リスニングテストで平均4.8点アップ。
中には、9点、15点アップを果たした受講生もあり。

CONTACT

問い合わせ

お問い合わせ

ご質問や契約に関するお問い合わせは
下記のフォームまたは連絡先までお気軽にお問い合わせください。

フォーム



メール

info@gabbyacademy.com

会社概要

会社名

株式会社ギャビーアカデミー
Gabby Academy Co., Ltd.

所在地

東京本社：
〒123-4567 東京都千代田区神田須田町2-25 GYB秋葉原2F

バンクーバー事務所：
555 Burrard Street, Vancouver, BC, V7X 1M8 CANADA

事業内容

英語スピーキング習得トレーニングGabbyの開発・販売、
法人等英語研修の企画・実施

代表

ホール奈穂子

設立

2020年2月28日
